

教委体第 978 号

平成 27 年 6 月 4 日

大分県スポーツ推進審議会
(会長職務代理)

副会長 谷口 勇一 殿

副会長 角山 光邦 殿

大分県教育委員会

教育長 工藤 利明



県立屋内スポーツ施設の建設について（諮問）

標記のことについて、大分県スポーツ推進審議会条例第 2 条の規定により、県立屋内スポーツ施設あり方検討委員会の提言書に基づく武道を中心とした新たな県立屋内スポーツ施設の建設について、また、今後の県立総合体育館のあり方について諮問します。

（理由）

県立総合体育館は、唯一専用の柔道場・剣道場を有する県立屋内スポーツ施設であるが、施設の老朽化や大体育室の規模不足、柔道場の規定面積不足などの課題から十分な武道館機能を有しているとは言えない状況である。

こうしたことから、大分県スポーツ推進計画において、県立武道館構想の検討と調査・研究を行うとしており、また、平成 25 年に 26 万人を超える県立武道館建設を求める署名が提出されるなど、武道施設の整備に対する県民ニーズの高まりが見受けられる。

こうした中、ラグビーワールドカップ 2019 や東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、大会にも活用できる施設の整備について、早急に県の方針を決定する必要がある。

他方、今後の県立総合体育館については、長寿命化にも多額の経費が必要であり、これまでの行財政改革の趣旨を踏まえると、より費用対効果の高いあり方について検討していく必要がある。

大分県教育庁体育保健課
生涯スポーツ班（内 5645）

平成27年6月8日

大分県教育委員会
教育長 工藤 利明 殿

大分県スポーツ推進審議会
会長 谷口 勇



県立屋内スポーツ施設の建設に関する意見について

平成27年6月4日付け教委体第978号で諮問されたことについて、大分県スポーツ推進審議会において審議した結果、答申に先立ち、以下のとおり意見を提出します。

なお、今後の県立総合体育館のあり方については、県民の利用状況や新施設の機能などを踏まえ、引き続き審議することを申し添えます。

(意見)

県立総合体育館は築後36年が経過し老朽化が進み、武道の大規模大会が開催できないなど中核スポーツ施設としての機能不足が深刻化している。

こうした中、県民からは、武道の中核となる施設の整備を求める多くの意見が寄せられるとともに、スポーツを通じた県民の生きがいや健康づくり、地域活性化などに関する多くの要望が出されている状況である。

こうした意見や要望に対応するため、武道競技を中心としながらも多目的に県民が幅広く利用できる新たな県立屋内スポーツ施設の整備が必要である。

また、整備にあたっては、本県での開催が予定されているラグビーワールドカップ2019での関連施設や、東京オリンピック・パラリンピック出場選手のトレーニング拠点としても活用できるよう早期に建設することが望ましいと考える。